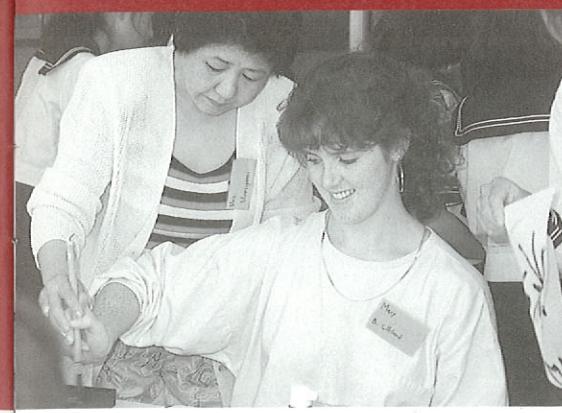


人と人との“ふれあい”が育む 国際化。●広がる国際交流「ホームステイ・カントリー熊本」



いメアリーとの会話も英語で何なくこなします。この10日間は昼も夜もメアリーと一緒に、「彼女の好奇心の強さとバリタリティに驚かされるばかりです。毎日外に出で、いろんなものを見たり、聞いたり。遊ぶときは、徹底的に遊んだり。時間をフルに活用して、熊本での生活をエンジョイしています」と弘美さん。熊本での20日間は、メアリーにとって、すべてが新しく興味深いものでした。モンタナに帰つたら、友達に日記を見せるそうです。熊本で行ったところ、見たこと感じたこと……。その日記には、彼女の「日本」が詰まっているのかもしれません。

「熊本でいちばん印象に残っているのは、『人と文化』と、笑顔で語るメアリー。いつたいどんな『人と文化』を見つけたのでしょうか。」

熊本県は、「ホームステイ・カントリー・熊本」づくりをテーマに、ホームステイ家族数日本一を目指しています。そして、多くの人々が外国人と直に触れ合い、異文化を肌で感じとつてくれれば、星子さんのような国際人もきっと増えていくことでしょう。家庭に入つて一緒に生活することが、いちばんのコミュニケーション。そのためにも、ホームステイの役割は重要です。メアリーのようなホームステイはもちろん、企業研修と組み合わせたインター・ホ

生のホームステイ。今年も男女10人の高校生が県内の家庭にやつてきました。彼らは、20日間ホストファミリーと楽しい日々を過ごします。

「観光客として観光地を見て回るよりも、家庭の中に入つて、一緒にご飯を食べて、寝て……本当に、人と人として接することができたし、人の温かさを体験することができました。来てよかったです」と思っています。もう少し長くいたメアリー・ペス・ギリランドさん、17歳。彼女は、モンタナ州の小さな町ホワイトフィッシュから、はるばる熊本へやってきました。旅行が好きで、貿易関係の仕事に興味を持つメアリーは、日本にも前から関心を寄せていました。

メアリー・ペス・ギリランドさん、17歳。彼女は、モンタナ州の小さな町ホワイトフィッシュから、はるばる熊本へやってきました。旅行が好きで、貿易関係の仕事に興味を持つメアリーは、日本にも前から関心を寄せていました。旅行が好きで、貿易関係の仕事に興味を持つメアリーは、日本にも前から関心を寄せていました。

「日本の歌舞伎とか能とか。そういう伝統的なものに魅かれるんです。憧れの日本にやつて来た彼女たちは、全国高文祭や天草インター・ナショナル・サマースクールにも参加。熊本の高校生たちと交流を深めました。さらに、出水南中学校では、一日入学を体験。日本の子供たちに混じって、日本料理や習字を習いました。初めて握った筆を手に、はしゃいだり、喜んだり。火の国祭りでは、『おてもやん総踊り』に参加。自分のハッピ姿に大満足のようでした。

「日本の歌舞伎とか能とか。そういう伝統的なものに魅かれるんです。憧れの日本にやつて来た彼女たちは、全国高文祭や天草インター・ナショナル・サマースクールにも参加。熊本の高校生たちと交流を深めました。さらに、出水南中学校では、一日入学を体験。日本の子供たちに混じって、日本料理や習字を習いました。初めて握った筆を手に、はしゃいだり、喜んだり。火の国祭りでは、『おてもやん総踊り』に参加。自分のハッピ姿に大満足のようでした。

メアリーがホームステイしているのは、熊本市武蔵ヶ丘の星子弘毅さん宅。大学生の弘美さん、高校一年生の美紀さんと、やさしいお母さん（みどりさん）の四人家族です。弘美さんと美紀さんはモンタナ州にホームステイした経験もあり、日本語がほとんど喋れない



ホームステイ・ホストファミリーについてのお問い合わせ先

●熊本県 総務部国際交流室

TEL(096)383-1111代 内線2827まで